とかち新聞
主筆 松山明
(発行所)北海道足寄郡足寄町　とかち新聞社　電話2551番
毎旬5の日発行　1カ月300円　1カ年前納3,000円

明年の建設事業実施計画まとまる

足寄町の総合開発

足寄町では、四十三年度からの総合開発十カ年計画の最終年度にあたる明年度の建設事業の実施計画をこのほどまとめましたが、これは一般財源、交付税、補助、起債などの伸びを期待しつついくらか希望的要素もふくめてはいますが、あくまでも実施可能の事業として計画を樹てたもので、その主な内容をひろってみました。

西小学校改築　校下の十数年来の願いがかなってようやく着工、鉄筋コンクリート三階建、二、六三三平方㍍を新築、受電設備、旧校舎解体に設計、監督委託をふくめて三億六千八百三万円という大工事。

スクールバス　大誉地七十六人乗り、芽登、大誉地二十六人乗り、長野十二人乗りの計四台の更新に一千九百八十五万円

給食センター　米飯給食施設、給食配送車更新浄化槽、ボイラー燃焼装置改良などに七百七十一万円。

教員住宅　木造モルタル平家四戸に一千八十万円

北区母と子の家　市街の中心地帯にありながら公共施設がなく不自由をかこっていたところへ待望の集会所で、木造モルタル平家建二六四平方㍍の三千六百万円。

公営住宅　北星団地に才一種平家建八戸、二千九五十万円。美盛団地に道営住宅四戸。

都市計画　中部地区土地区画整理事業に一億二千二八万円。山手通り改良舗装工事に一億九百万円、校南通り改良舗装工事に二千七百万円。黒見ガ丘運動公園地買収に六千百五十万円。北星公園整備に五千二百万円。足寄駅前広場改良舗装工事に一千六百七十万円。黒見ガ丘駐車場簡易舗装に二百四十万円。

道路整備　通学拒否問題解決の条件となった下愛冠地区から東小学校への通学路新設に三千万円。平和ノ稲牛線改良に四千五百万円。北区側溝整備事に二千九十七万円。藤川分流国道、鉄道横断工事に二千九十七万円。藤見橋架換に三千三百六十万円。

林道　小松の沢線に三千万円。常盤の沢線に三千八百五十万円。塩幌の沢線に四千五百六十万円。

★…筆者の新聞づくりぶりが再三テレビで紹介されたり、ラジオの全国放送に登場したりしたキッカケはNHKがローカル新聞の現状をとらえる番組制作のために全道のいわゆる一人親方ノの小新聞数十社を調べて歩いたものの、ロクなものがなかったためらしいことで、その町村の問題点にまともにとりくむというよりも、新聞を営業本位にチャランポランに世渡りする手合いが多いことです。ローカル新聞では生活が楽でないのは事実で無難に営業本位に世渡りする商品化しているため。

★…それは大新聞も同じで、七百万部も発行していろ中央紙でも借金だらけで経営は四苦八苦で、時の権力や大企業や広告スポンサーには弱く、あれだけ強力な取材網をはりめぐらしながら、ロッキード事件の政府高官の一人もキャッチできずに、警察や検察のあと追いをするだけのこと。

★…あれだけの機構をもちながら政治面になればどうの新聞もテレビも同じ規格で、新聞も情報産業というひとつの企業であって、採算のとれることが望ましいとしても、他の企業のように利益をあげることが目的ではなく、それに左右されては新聞本来の役割は果せないものであること。

★…それを覚悟で好きなこの道を選んだからには、苦労は承知で頑張るのは当然のことですが、各方面からのご支援によって工場改築はおかげさまで着々とすすみ、快適な環境で新聞づくりのできる日が近づいてきました。

主筆の室

主任制や高校全入など

初の教育討論集会

足寄町民会議では三日夜公民館で一般町民二百余名とともに町ではじめての教育問題討論集会をひらきました。

主催者を代表して篠原地区労議長のあいさつがあって、町内小中高校の各教師民主教育をすすめる足寄町民会議では三日夜公民館で一般町民二百余名とともに町ではじめての教育問題討論集会をひらきました。

主催者を代表して篠原地区労議長のあいさつがあって、町内小中高校の各教師から現場の実状が訴えられ小笹同事務局長の司会によって、二時間余にわたって参会者との意見交換がおこなわれました。

目下、問題となっている主任制については、校長や教頭のほかに中間管理職の主任を創設することは、本来の教育よりも出世のために校長のご機嫌とりになり、小さな学校では平の教師は二、三人となり負担が重くなる、同じ仕事をしていて手当をもらうものともらわないものの差別が生じもらわないものの協力関係にひびが入る、などとして、いま町議会に町民四千六百名の署名を得て主任制実施反対の請願を出して交渉するとの付託されているが、参加者の半数以上の意志を尊重すべきであるという意見が出ました。

憲法や教育基本法を無視した主任制の強行に反対して本別警察署では北海道足寄支会の三役に任意出頭を求めて家族にいやな思いをさせていることなどが切実に論議されましたが、この集会での最大のテーマは高校全入の問題でした。

足寄中学校の明年の卒業生は二百名いるが足寄高校普通科に入れるのは七十名くらいで、ラワン中学校も二十九名の全部が希望しているが入れるのは六、七名で、大半は地元の高校に入れず、本別、池田、帯広へと散っており、家庭を離れての下宿、アパートぐらしは本人のためにもよくないので、なんとか地元の中卒生は地元の高校へ入れるようにすべきだという発言が強く出ました。

足寄と陸別が一致して運動

それにはどうしても足寄高校の間口増が先決問題で明年の中卒見込みは足寄町が二百八十四名、陸別町が百十九名の計四百三名に対して足寄高校の普通科は三間口の百二十五名にすぎなく、家政科をふくめても百八十名なので、両町が一致して間口増の運動をおこすべきだということになりました。

この集会でその運動のための体制をつくるべきだとの意見も出ましたが、きょうは討論集会なので、主催者側では日を改めて準備をすすめ広範囲の町民の参加を求めて組織化をはかることを約束しましたが、帯広市内から郡部へ、郡部から帯広市内へという大学区制ではなく、居住地中心の小学区制を回復しなければならないとしています。

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
㊊久保呉服店
足寄町　T二一四八

祝
とかち新聞創刊
満二十週年記念

足寄町教育委員会
委員長　新津幸助
同代理　前谷信正
委員　新妻幸雄
同　教育長　谷海文雄
同次長　別宮忠光
同補佐　土田進
学校給食センター所長　野中竹男
オンネトー青年の家所長　斉藤恒次郎

足寄町国民健康保険病院
院長　加賀谷秀夫
産婦人科医長　中留邦彦
内科　長田紘
内科　益本義久
歯科　村井茂
事務長　横山三郎
同次長　野津伸司

足寄町社会福祉協議会
会長　三宅隆義
副会長　神本三家雄
同　大塚正夫

足寄町民生委員協議会　総務　三宅隆義
足寄町防犯協会　会長　国見進
足寄町老人グラブ連合会　会長　藤村与作
足寄町母子会　会長　桂さよ子
身障会足寄町分会　会長　阿部俊夫
足寄町遺族会　会長　春日井勇
共同募金会足寄分会　会長　長田栄
事務局長　杉本太　同次長　藤村淳

足寄電報電話局
局長　山口鉄也
業務係長　木本幸一
ーほか職員一同ー

足寄本通簡易便便局
局長　加藤芳弘

大自然のなかの人工美
ーいで湯のふるさとー
観光と保養の　芽登温泉
足寄町芽登　T二八五五

技術に生きる！
テレビ
ラジオ
レコード
ステレオ
有限会社
ミネ・デンキ
足寄町三笠通り　T 2642

夏物衣料を各産地から
沢山仕入れてきました
ただいま陣列を完了しまして
皆様の御用命をお待ちしております
是非御来店下さい
株式会社　前田呉服店
足寄町駅前商店街　T二〇二三

住宅産業に奉仕する店
新築改築のときはご相談下さい
家具・建材　サッシ　住宅設備機械
有限会社　桜井家具建具店
足寄町本通り南3丁目　T 2362
アコーデオンカーテン　サッシ網戸
各種注文承ります
注文建具
注文サッシ　製作部　足寄町西5区　T 3315